



学校だより No.32

令和3年11月10日(水)

泉崎村立泉崎中学校

白 樺

発行責任者 校長 桑原透

泉崎中スローガン

- 1 明るく元気なあいさつ
- 2 健康・安全
- 3 「自他共栄」
- 4 「一歩改革」

目指す学校像

- 1 安全で安心して生活できる学校
- 2 生徒・教師が楽しめて「今日も来てよかったなあ」と思える学校
- 3 生徒が主体となって活動し、明るく活気のある学校
- 4 学校・保護者・地域が連携し、共に成長していく学校
- 5 保護者や地域から信頼される学校

期末テストに向けて

11月22日(月)は期末テストです。すでにテスト範囲が発表になっており、各学級で、時間を設定して一人一人が家庭での学習計画を立ててい

ると思います。お子様の家庭での学習状況はいかがでしょう。

前号でもお話ししましたが、3年生はこの期末テストの結果が受験にも影響します。特に私立推薦受験を考えている人は受験資格にも関わってきます。是非自分の目標や夢をかなえるために頑張ってください。

下に載せたものは4月と5月に行った「ふくしま学力調査」と「全国学力学習調査」の生徒質問紙(アンケート)結果です。

【学校の授業以外に、月曜～金曜一日あたりの勉強時間が1時間以上の割合】

- | | | | |
|----|----------|---------|----------------------|
| 1年 | 県平均77.8% | 本校60.7% | (3時間以上 県6.3% 本校0%) |
| 2年 | 75.4% | 本校75.9% | (3時間以上 県5.7% 本校7.8%) |
| 3年 | 89.9% | 本校70.0% | (3時間以上 県29.9% 本校15%) |

先週の朝会で「家庭での学習時間をもう少し増やす努力をしましょう。」と話しました。また、ご家庭での協力があれば、家での学習がさらに充実します。ご支援をよろしくお願いします。

心の支え

難しいところはあった？
できるようにするためには、
どうしたらよいか？

あなたは、ものを教えることが上手だね。

こつこつと頑張れるって、すごいことよ。

人は成功するより、失敗することのほうが多いものよ。

ずいぶん集中して頑張っていたね。

この前のテストで、〇〇ができていたね。

他のお子さんと比べないよう、気を付けたいと……。

ちょっとした変化に気付いて、認めてあげることが大切ね……。

将来は、どのような職業に就きたいの？

〇〇になるためには、△△をやってみるのもよいかね。

- お子さんが「自分のよさ」を自覚したり、将来の夢や目標の実現を意識したりできるようにする。
- お子さんのノートや学習プリントなどを見て、頑張った過程を認める。
- 学校からの依頼に応じて、保護者からのコメントを書いたり、確認印を押したりする。
- 自分の成功体験や失敗体験を話す。 など

環境づくり

プリントを整理するファイルが必要ね。

新聞に〇〇について載っていたよ。読んでごらん。

〇〇曜日は家族みんなで読書しましょう。

〇〇検定に挑戦してみたらどうかね。

来週の日曜日に、〇〇〇〇に行って、一緒に調べよう。

〇〇体験セミナーに参加してみない？

調べてまとめる学習も大切であることが、学年だよりに書いてあったわね……。

読書は、集中力を高める効果もあると聞いたことがあるな……。

- テレビを消すなど、お子さんが集中して学習できる環境をつくる。
- 目が届くところにいて、お子さんがいつでも相談できる環境をつくる。
- 地域行事の予定などを、前もってお子さんに知らせる。
- 興味をもちそうな本や新聞記事を紹介する。 など

11月22日(月)	1校時	2校時	3校時	4校時	5校時
期末テスト時間割	英語	理科	社会	国語	数学



作業興奮

「作業興奮」 (今週の朝会での話)

大きな行事が終わり、勉強に力を入れる時期になりました。期末テスト2週間前になりましたが、家での勉強は思うように進んでいるでしょうか。

楽しいから笑う 笑うから楽しくなる・・・

あまり面白くなかった漫画を次はお箸をくわえてもう一度読んでみると、不思議なことに大変面白くなるそうです。(はしをくわえることで笑った顔になる) 東京大学の脳科学者池谷教授の実験結果だそうです。つまり作り笑顔で楽しくなるということです。



眠くなるから横になる→横になるから眠くなる

好きだからやる→やるから好きになる

やる気を出すために背筋を伸ばす→背筋を伸ばすからやる気がでる

実はみんな逆なのだそうです。これらの原理を専門的に「作業興奮」といいます。

体を動かしたり、何かアクションを起こすことでスイッチが入る。まさにやる気は自分から起こしていくということです。よくスポーツ選手が「辛く緊張する時ほど嘘でもいいから笑え」と言いますが、これが正に作業興奮で、リラックス効果を促しよい結果につながるのです。

さて、最初に話した家での勉強ですが、なかなかやる気が起きない時があるのではないのでしょうか。そんな時は「よしやるぞ」とか「勉強頑張るぞ」などと声に出してみてください。やる気スイッチが入るはずですよ。再来週の今日は期末テストです、目標を持ってしっかり頑張きましょう。

特集 『発達障害 ⑬』

【No.11 理解のポイント② 理解することが先、対応するのはその後】

発達障害の子の困難に気づいたとき、その背景にある特性を理解しようとせず、大人の価値観で一般的な対応を行うと、子どもを苦しめることがあります。

発達障害に気づく

子どもの様子を見ていて、発達障害の可能性に気づく。

まずは理解する

対応をあせるとうまくいかない場合が多い。まずは悩みを把握し、その背景にある特性を理解していく。

その後に対応

特性を理解していくと、子どもの困っていたわけが見えてくる。対応はその後でよい、理解が深まれば深まるほど、その子に合った対応ができる。

※ 本人が困難を説明できるのは10歳頃から。まわりの大人が子どもの特性に目を向け、その背景を理解しようとつとめることがきわめて重要。

特集「発達障害」は今回が最後になります



京崎中学校HP 京崎中学校HP 京崎中学校HP 京崎中学校HP 京崎中学校HP 京崎中学校HP 京崎中学校HP 京崎中学校HP 京崎中学校HP 京崎中学校HP